

令和2年12月10日

希少糖を用いた病院食開発に関する 香川大学医学部附属病院内分泌代謝内科・糖尿病センターと 株式会社ボスコフードサービスとの共同研究の開始について

国立大学法人 香川大学と株式会社ボスコフードサービスは、希少糖を用いた病院食開発のための共同研究を実施しますのでお知らせします。

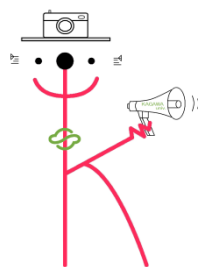
■共同研究の背景

我が国における糖尿病患者数は増加し、糖尿病予備軍を含めれば2000万人を超え、糖尿病患者における肥満者も急増しています。肥満や糖尿病などの生活習慣病の治療の基本は食事療法であります。

希少糖は自然界で存在量の少ない単糖とその誘導体として定義される糖であり、その一種であるD-アルロースは、糖代謝改善作用・食後血糖改善効果に加え、体重減少などによる抗肥満作用も期待されています。D-アルロースを含有する治療食（病院食）^注を開発することで糖尿病・肥満症に対して食後高血糖を抑制し、肥満を防止する積極的な治療食の開発を目指します。

尚、本共同研究は、令和2年度香川県糖質バイオ活用支援事業費補助金の採択事業「希少糖 D-アルロースを使用した病院食の開発」として、産官学連携で推進致します。

^注 治療食（病院食）とは、一般的に病院内で入院している患者に対して提供される食事（給食）のことである。一般の食事と異なり、各々の病院で、個々の入院患者の病状に応じて、カロリー制限やバランスの良い栄養分を考慮して提供される。



- 担当：香川大学医学部内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学
福長健作 村尾孝児
- お問い合わせ先：香川大学医学部総務課 広報法規・国際係 立石
TEL：087-891-2008 FAX：087-891-2016
E-mail：kouhou@med.kagawa-u.ac.jp
- お問い合わせ先：株式会社ボスコフードサービス
代表取締役：森卓二 担当：渡邊悠司
TEL：0875-83-5558 FAX：0875-83-5974
メール：info@boscofs.co.jp